



HP「辻よし子と歩む会」で検索



「辻よし子と歩む会」

☎ 190-0154

あきる野市高尾 182-1 佐橋方

電話 & FAX : 042-596-4569

e-mail : kusasigi@nifty.com

共同代表 : 柏倉倫子・青木真知子

小さな声に耳をすまし、大きな力にひるまず！

初めての市議会傍聴

今年の6月1日、私は初めて市議会の傍聴をした。6月定例会議初日の本会議の途中からの傍聴で、議員が1人ずつ質問をして、市の担当課が答えるという「審議」をしていた。

率直な感想としては、いろいろな人から聞いていた「辻さんの質問になると議会に緊張感が出る」は本当だった！ということ。辻さんが質問する時は、明らかに回答する市の職員の状態がピリっとしてた。議員の主戦場は議会のはずなので、常に緊張感があり活発な議論が行われるべきだが、私が見た限り他の議員の質問では辻さんの時のような緊張感は無い事が多く、残念だった。国政でも国会軽視が問題視されているが、市民が監視していかないといけないのだな、と改めて思った。

ただ、傍聴の際に入手した「一般質問事項表」を見ると、議員は皆それぞれ様々に問題意識を持ち、質問として取り上げている事がうかがえた。問題は、その課題がどう話し合われたのか、その過程を市民が知る機会が限られていること。平日昼間に行われる議会を市民が全て傍聴するのは難しい。その点、議会の動画アーカイブは便利なので活用したい。

また、広報誌『ギカイの時間』は議題が一覧できるので、市民は自分の関心がある課題だけでも確認できるのでとても良いのだが、全ての議題が載っているわけでは無い。どの議題を広報に載せるか決めるのが広報広聴委員会で、その決め方に問題があり、私が傍聴した日はその問題についても話し合われたが、残念ながら平行線だった。引き続き監視していきたい。(I・A 瀬戸岡在住)

辻さんの一般質問を傍聴して

私は2017年度の途中から非常勤職員、そして3年前からは会計年度任用職員として働いています。年度途中での採用であるためか、職場での仕事内容、出勤簿の記入方法などは管理職ではなく、私より長く勤務している、いわゆる先輩職員から教えてもらいながらのスタートでしたが、少しずつ慣れてきた頃から雇用に関して疑問に思うことが出てきました。それを先輩職員に聞いてみても「慣例」ということで根本がわからず、納得できずにモヤモヤとした気持ちのまま、そうしてかなりの時間が過ぎてしまいました。議会の傍聴により、私の感じてきたことはやはり「問題」であるということも色々わかりました。

中には今回の質問にもあった、ジョブ型正規職員等の新制度を導入してはどうか？ というものや、再度の任用について適切な対応がされているかどうか？ という事等から、現場にいるのに伝えられていなかったモヤモヤは「そういうことがあったのか……」と理解することができました。

私は勤務日数が少ないのであまり実感のなかった休暇制度や期末手当等に関しては、フルタイムに近い勤務においては、やはり正職員の処遇に照らし合わせても見直していく必要があるのだなあと、

いろいろ知ることができた初傍聴でした。

(T・N 草花在住)



「えっ?! 議会は政治の場じゃないの?!」

市議会には、主に議会だよりの編集を行っている広報広聴委員会という組織があり、その委員長を務める辻さんに対するとんでもない解任動議が出たことについては、前号の記事にあった通りです。その騒動の中で、辻さんが、議会基本条例に書かれた「論点、争点を明らかにする」という議会の役割を尊重すべきと指摘したのに対し、「正論だけじゃダメだ!」というような驚くべき発言が自民党志清会の議員からありました。この問題発言をあきる野市議会としてどう考えるか、議員全員協議会で話し合われると聞き、傍聴に出かけました。

しかし、辻さんが議会基本条例をないがしろにした事の問題を述べているのに、発言者本人からは、「誤解を与えてしまった」という謝罪のみ。他の志清会の議員達も議会基本条例のことにはほとんど触れず、委員長に対する批判ばかり。中には「本人は3回も謝っているんだから、しつこく追及するのはおかしい」旨の発言もありました。違う!! 辻さんは謝罪を求めているのではなく、議会基本条例を順守すべきことの確認を求めているだけなのに、全くわかっていない!

他にも「委員長は事前に根回しをして全員一致を図るべきだ」という「村の寄り合いですか?」的な発言も。極めつきは、やはり志清会の議員からの「委員会に政治を持ち込むな」発言でした。これに対しては、最後にわずかな発言時間を与えられた辻さんが「市議会は政治の場ですよ!」とピシャリと返してくれました。

個人攻撃に終始した協議会の場で、辻さんのストレスはいかばかりかと感じ、辻さんを孤立させてはならないと強く思いました。

(M・M 館谷在住)

無党派
一人会派

辻よし子・プロフィール

1960年生まれ。小学校教員を経て、ボランティアとしてタイの農村教育に関わる。1995年よりあきる野市に暮らす。「川原で遊ぼう会」を中心に市内の環境保全活動に取り組む。3.11以後、脱原発の市民活動を始める。2015年10月の補欠選挙で初当選。現在8年目。常任委員会は環境建設委員会。広報広聴委員会委員長。夫、次男、ネコ1匹と草花に暮らす。

教科書採択、市民もウオッチ

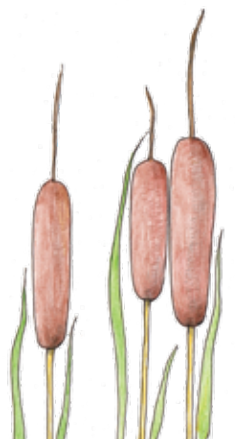
あきる野市の学校がどんな教科書を使うかは、あきる野市教育委員会で審議され決定します。今年は小学校の教科書の採択が行われます。「教科書採択に関しては、保護者をはじめ国民により開かれたものにしていくことが重要です」と文科省の方針もあり、あきる野市でも6月1日から、教科書見本本を市役所や図書館で誰でも見ることができ、感想や意見などを教育委員会に寄せることができるシステムがとられています。

図書館に展示してある小学校6年の社会の教科書を見てみました。あきる野市が誇る五日市憲法は載っているだろうか。…全社3冊とも載っていました。どの教科書も、五日市の人々、地域の若者が学習会を重ねつくりあげた憲法であり、基本的人権、権利について沢山載っていると説明しています。そういう点では、殆ど変わらないが、歴史の流れのなかでの位置づけは異なっているように思いました。2冊は自由民権運動の中でつくられた私擬憲法案*の例示として五日市憲法は扱われ、他の1冊は、五日市憲法草案と大日本帝国憲法との比較がされていて、人々のつくった憲法と政府がつくった憲法の違いが良くわかる。それは国が強力に押し進める近代国家への流れを別の角度から見ることにもなる。

もちろん、五日市憲法の記述だけで、教科書を決めるわけではないけれど、7月26日の教育委員会ではどのような審議が行われるか、傍聴に行きたいと思っています。

* 明治時代に民間で作られた憲法の私案の総称

(F・M 牛沼在住)



「辻よし子と歩む会」

会員募集中!

年会費:1,000円(カンパ歓迎!)

郵便振替

加入者名 辻よし子と歩む会

口座番号 00140-9-430053

ゆうちょ銀行(店番)〇一九(ゼロイチキュウ)店(019)

当座 0430053

